

平成27年度

**全国学力・学習状況調査の
結果について**



海老名市立海老名小学校

全国学力・学習状況調査について	P. 1
「国語に関する調査結果」と「今後の具体的な取組」	P. 2
「算数に関する調査結果」と「今後の具体的な取組」	P. 3
「理科に関する調査結果」と「今後の具体的な取組」	P. 4
「児童質問紙の結果より」と「今後の具体的な取組」	P. 5
ご家庭で取り組んでいただきたいこと	P. 6
(資料) 学習・生活習慣と学力との関係	P. 7



全国学力・学習状況調査について

全国学力・学習状況調査は、平成19年度に始まった全国一斉の調査です。平成22～24年度は抽出調査(平成23年度は震災の関係で実施を中止)でしたが、平成25年度から再び全国すべての小中学校が対象となりました。

なお、今年度実施された「理科」については、3年に一度実施されるものです。

◆ 調査の目的

- (1) 児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

◆ 調査の対象

国・公・私立学校の以下の学年、原則として全児童生徒

- ・ 小学校第6学年
- ・ 中学校第3学年

◆ 調査内容

- (1) 教科に関する調査

【小学校】

- 国語A・算数A (主として「知識」に関する問題)
- 国語B・算数B (主として「活用」に関する問題)
- 理科 (主として「知識」「活用」に関する問題)

【中学校】

- 国語A・数学A (主として「知識」に関する問題)
- 国語B・数学B (主として「活用」に関する問題)
- 理科 (主として「知識」「活用」に関する問題)

「主として『知識』に関する問題」とは？

これからの学習や生活をしていく上で、確実に身につけておかなければならない基礎的な力を調査する問題

「主として『活用』に関する問題」とは？

身につけた基礎的な力を生かして様々な問題を解決したり、工夫して生活したりする力を調査する問題

- (2) 児童生徒に対する質問紙調査

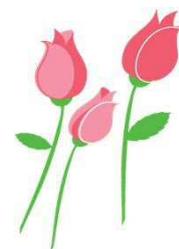
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問

- (3) 学校に対する質問紙調査

指導方法や取組、人的・物的な教育条件の整備の状況等

◆ 調査実施日

平成27年4月21日(火)



国語に関する調査結果

国語 A

(主として「知識」に関する問題)

《優れている所》

○基本的な知識については、概ね理解しています。

○学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読んだり（招く・信念・承知）、書いたり（浴びる・巣・病院）することができます。

○文を構成する主語と述語の照応関係を捉えることができます。

《努力を要する所》

○文の中における主語を捉えることに課題があります。

○新聞のコラムを読み、「引用」されている箇所を捉えることに課題があります。



国語 B

(主として「活用」に関する問題)

《優れている所》

○目的や意図に応じて、新聞の割りつけをしたり、記事に見出しをつけたりすることができます。

○目的に応じて、中心となる語や文を捉えたり、文章の内容を的確に押さえながら要旨を捉えたりすることができます。

《努力を要する所》

○目的や意図に応じて、取材した内容を整理しながら書くことに課題があります。

○条件に合わせ、指定された字数の範囲で考えをまとめて書くことに課題があります。

今後の具体的な取組

○漢字の読み書きの指導を今後も丁寧に行い、日常生活の中で積極的に使うように指導していきます。今後も朝読書を推進していきます。

○主語と述語、修飾と被修飾との関係など、また「引用」の仕方やその対象などについて、文章を理解したり表現したりする際に意識できるように指導していきます。

○必要なことを落とさず、指定された字数の範囲で記述するなど、考えを書く際に、条件を意識して書くことを取り入れていきます。

算数に関する調査結果

算数 A

(主として「知識」に関する問題)

《優れている所》

- 基本的な知識は概ね理解し、計算式から正確に答えを求めることも概ねできています。
- グラフに表されている事柄を読み取ることができています。
- 式で表現された数量の関係を図と関連づけて理解することができています。
- 直方体の見取図と展開図を関連づけて辺や面の位置関係を理解したり、見取図から展開図に必要な面の大きさを読み取ったりすることができています。

《努力を要する所》

- 分度器を用いて、 180° よりも大きい角の大きさを求めることに課題があります。
- 示された三角形が二等辺三角形になる根拠を、円の性質と関連づけて判断することに課題があります。

算数 B

(主として「活用」に関する問題)

《優れている所》

- 平行四辺形を構成することができる辺の組み合わせを理解しています。
- 単位量当たりの大きさをを用いて、目的に応じた買い物の仕方を選び、代金を求めることができています。
- 概数について理解し、見積りの結果を正しく解釈することが、概ねできています。

《努力を要する所》

- 基準量、比較量、割合の関係を捉え、基準量を求めることに課題があります。
- 前提となる考えや理由などの根拠を明らかにして、論理的に考えたり、それを記述したりすることに課題があります。



今後の具体的な取組

- 今後も、基本的な知識・技能の確実な定着を図るとともに、筋道立てて考え、それを記述し説明しながら深めていく学習を進めていきます。
- 角の測定では、見当を付けてから測定することを心掛けさせていきます。
- 図形では、作図の方法を図形の特徴と関連づけて捉えることができるよう指導していきます。
- 割合については、日常生活の様々な場面と関連づけ、イメージを明確にして問題解決に当たれるように指導の工夫をしていきます。

理科に関する調査結果

《優れている所》

- 振り子時計の調整の仕方を調べるための実験について、条件に合う方法を考えることができている。
- 電磁石の働きを利用した振り子について、試行した結果を基に自分の考えや方法を改善することができている。
- 生物の成長の様子について調べた結果を、成長に必要な養分のとり方という視点から考察して分析することができている。
- 水蒸気は水が気体になったものであることや、水が水蒸気になる現象について理解している。
- 打ち水の効果について、グラフを基に、地面の様子と気温の変化を関連づけて考察し分析することができている。

《努力を要する所》

- 顕微鏡の適切な操作方法の理解が不十分です。
- 植物の成長の様子と日光のあたり方から、適した栽培場所を選び、その理由を的確に記述することに課題があります。
- 水の温度と砂糖が水にとける量の関係を表したグラフから、水の温度が下がった時、とけきれずに出てきた砂糖の量をとらえ、そのわけを記述することに課題があります。
- 方位や月の見え方についての理解、星座の動きの適切な観察記録方法についての理解に課題があります。



今後の具体的な取組

- 問題解決的な学習を進め、「予想—実験—結果—考察」の学習の流れの中で、知識の定着を図るとともに科学的な思考力を育てていきます。
- 学習を通して得た知識を、実際の日常生活や自然の中に当てはめて考える活動を充実させていきます。
- 方位については、他教科の学習とも関連させて日頃から生活している場所での方位を意識させ、方位を捉えながら月や星の観察ができるようにしていきます。
- 観察・実験では、器具の適切な取扱い方や操作の意味などを捉えられるように指導していきます。

児童質問紙の結果より

学習について

《よかった所》

- 家で自分で計画を立てて勉強していると答えた児童は7割を超え、全国より高いです。
- 国語で段落や話のまとめりごとに内容を理解しながら文章を読む、算数で新しい問題が出た時に解いてみたいと思うという児童が多いです。
- 授業の中で分からないことがあった時、最も多かったのが、「その場で先生に尋ねる」です。

《課題と思われる所》

- 読書が好きな児童は約78%で全国よりやや高いですが、授業以外の時間や放課後・休日に学校の図書室や地域の図書館に「ほとんど、または、全く行かない」と答えた児童が約45%で、全国より高いです。
- 自分の考えや意見を発表したり文章に書いたりすることを苦手と感じている児童が半数ほどいます。

生活について

《よかった所》

- 多くの児童が規則正しい生活を送っていることがうかがえます。
- 「難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦している」「自分には良いところがあると思う」と、8割以上の児童が答えています。
- 規範意識があり、学校のきまりを守ろう、いじめはどんな理由があってもいけないと考えている児童が多くいます。

《課題と思われる所》

- 平日1日当たり2時間以上、テレビゲーム(携帯式ゲーム、携帯やスマホを使ったゲームも含む)をする児童が約34%で、全国よりやや高いです。
- 地域や社会の出来事に関心のある児童が7割以上で、全国より高いですが、地域の行事に参加していると答えた割合は6割を下回り、全国より低いです。



今後の具体的な取組

- 「挨拶運動」や学校生活の約束などをもとに、基本的な生活習慣の定着や規範意識を高めることなどを今後も進めていきます。これからも「早寝・早起き・朝ごはん」の取組にご協力ください。
- 学校生活の様々な場面で、子どもたち一人ひとりの努力を大切に、励まし、達成感が味わえるようにしていきます。また、思いやりの心を育てていきます。
- 各教科や総合的な学習の時間等で、考えをまとめて書いたり発表したりする取組に、より力を入れていきます。
- 学校図書館支援員との連携を深め、読書はもちろん、調べ学習でも図書室・図書館を利用する機会を増やしていきます。

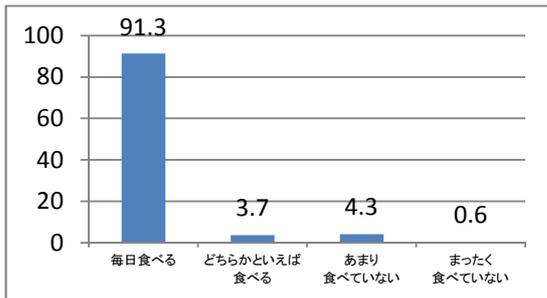
ご家庭で取り組んでいただきたいこと

平成27年度全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい6つの項目」をまとめました。できることから、ぜひ、始めてみてください。

1 「早寝・早起き・朝ごはん」を続けましょう

「早寝・早起き・朝ごはん」など、規則正しい生活習慣は学習意欲・体力・気力の向上につながります。

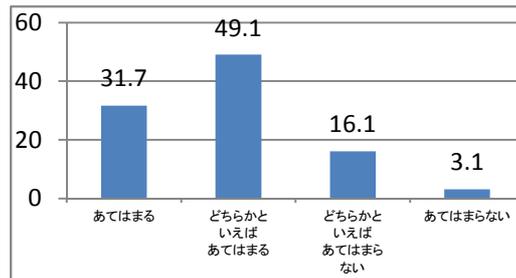
朝食を毎日食べていますか



2 努力したこと、挑戦したことを大切にしましょう

挑戦することで可能性が広がっていきます。失敗してもくじけない心を育てましょう。

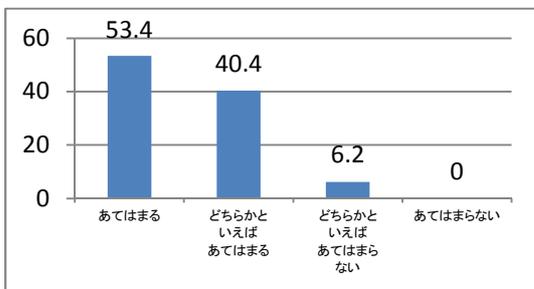
難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していますか



3 きまりを守ろうという気持ちをこれからも大切にしましょう

規範意識は、人とよりよく関わりながら社会生活を送る上で、とても大切なことです。

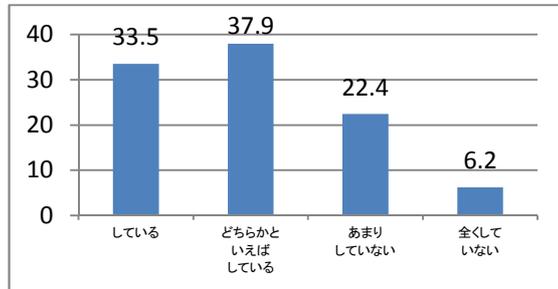
学校のきまりを守っていますか



4 計画的に家庭学習に取り組ましましょう

家庭学習を習慣化しましょう。特に復習をすると、学校で学習したことへの理解が深まります。

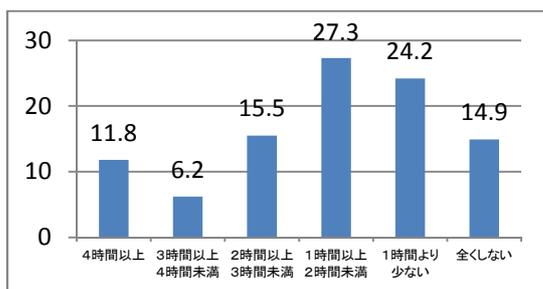
家で、自分で計画を立てて勉強していますか



5 時間の使い方を見直し、ルールを決めましょう

テレビやゲームに費やす時間、携帯・スマホなどの使い方を見直し、家庭でルールを決めましょう。

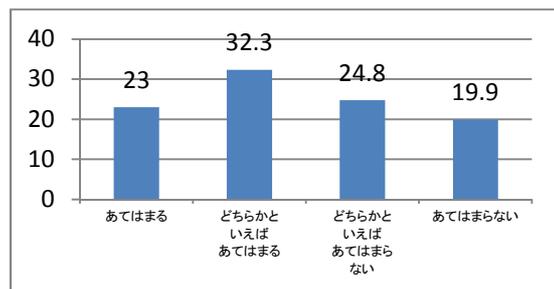
普段1日当たりどれくらいの時間、ゲームをしますか



6 地域の行事に積極的に参加しましょう

子どもたちは地域の中で育ちます。地域の行事に参加し、交流の輪を広げていきましょう。

今住んでいる地域の行事に参加していますか



文部科学省が全国の児童生徒の調査結果を分析したところ、次のようなことがわかりました。海老名市全体の分析でもまったく同じ結果が出ています。

児童・生徒の学習・生活習慣と学力との関係

次のような児童・生徒ほど、教科の平均正答率が高い傾向にあります。
(教科に関する調査、児童・生徒質問紙調査より)

【教科への関心・意欲・態度】

- ・国語、算数、理科に対する関心・意欲・態度が高い

【学校生活】

- ・学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがある
- ・先生は、自分のよいところを認めてくれていると思う

【基本的生活習慣】

- ・朝食を毎日食べる
- ・毎日、同じくらいの時刻に寝る

【社会に対する興味・関心】

- ・地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある
- ・新聞を読んでいる
- ・テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見る事に関心がある

【家庭学習・読書】

- ・学校の授業時間以外での学習時間が長い
- ・自分で計画を立てて勉強をする
- ・学校の宿題、授業の予習・復習をする
- ・読書が好き、読書時間が長い、学校や地域の図書館に行く頻度が多い

【家庭でのコミュニケーション】

- ・家の人と学校での出来事について話をする
- ・家の方は、授業参観や運動会などの学校行事に来る

【自尊感情・規範意識】

- ・ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある
- ・学校のきまり、規則を守っている
- ・人の気持ちが分かる人間になりたいと思う

【メディアとの関係】

- ・携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをする時間が短い



平成27年11月